

これまでの取組

地区	取組開始年度	主な取組状況
上丹生	令和元年度	R01.07.11 水害・土砂災害に強い地域づくりの取組ご提案
		R01.10.18 出前講座
		R03.06.04 役員WG（防災情報取得方法の確認）
		R03.07.30 役員WG（図上訓練）
		R03.10.30 役員WG（まちあるき）
		R04.02 簡易量水標、まるまち看板設置
		R04.05.26 役員WG（避難計画の検討）
		R04.08.02 役員WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）
		R04.08.03 既存宅地の現地調査
		R04.09.28 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）
R04.10.08 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）		



令和元年10月 出前講座



令和3年7月 図上訓練

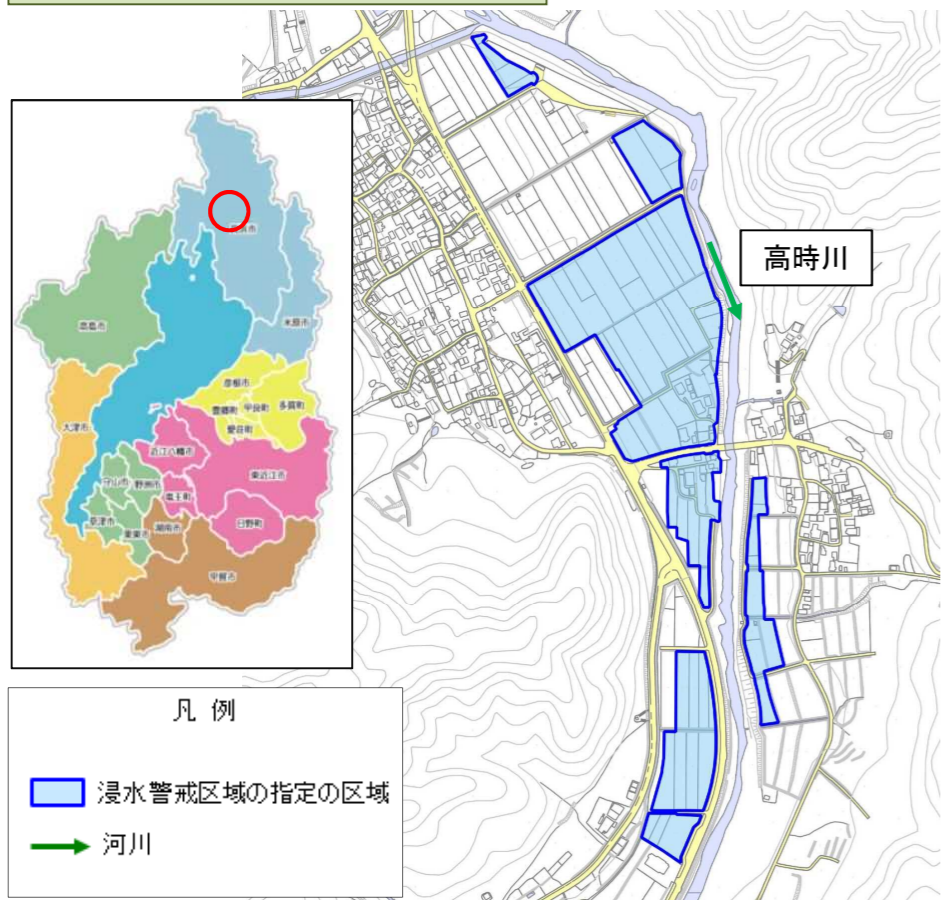


令和3年10月まちあるき

浸水警戒区域指定に係る経緯

～令和3年度	
	■ 浸水警戒区域素案の作成、 ■ 想定水位の設定
令和4年度	
R04.08.02	■ 浸水警戒区域の役員説明会
R04.09.28 R04.10.08	■ 浸水警戒区域の住民説明会
R04.10.08 R04.10.17	■ 「浸水警戒区域の指定」に関する個別説明会 10.08：上丹生コミュニティセンター 10.17：長浜市北部振興局
R04.12.23	■ 第17回湖北圏域 水害・土砂災害に強い地域づくり協議会
R05.01.13～01.26	■ 浸水警戒区域指定（案）の縦覧
R05.01.27～02.10	■ 市長への意見照会
R05.02.27	■ 滋賀県流域治水推進審議会
R05.03（予定）	■ 浸水警戒区域指定の告示

今回指定を予定している区域



取組を進める中で出た主な意見や質問（⇒質問に対する県の回答）

【浸水警戒区域について】

- 高時川は河川整備計画で整備実施区間に入っているが、なぜ浸水警戒区域の候補になっているのか。  
⇒浸水警戒区域（案）は200年に一度の大雨が降った場合に浸水深が概ね3mを超えるエリアになっている。河川整備の進捗等により地区のリスクが変化した場合は、区域の指定の変更・解除も条例上位置づけている。

【高時川の河川整備について】

- 高時川の河川整備計画は200年に一度の大雨への対応になっているか。  
⇒河川整備計画では流域の大きさによって整備計画規模を決定しており、高時川は戦後最大の降雨に対応する河川整備を実施している。
- 戦後最大規模の河川整備では、生命・財産を守るということを達成できないのではないか。  
⇒河川整備（ながす対策）を基幹的対策として実施していくが、河川整備を実施したとしても、それを上回る大雨が降ると氾濫が発生する可能性があるため、避難に関する対策（そなえる対策）や安全な住まい方に関する対策（とどめる対策）を進めている。
- 河川整備について、下流から順次実施しているとのことであるが、現在の整備状況はどうか。  
また、上丹生地区での実施時期はいつ頃になるか。  
⇒現在、古橋・菅並地区で護岸整備を実施している。計画は、堤防の嵩上げおよび護岸整備を実施することになっているが、下流への影響を踏まえ、現況の堤防高での護岸整備を行っている。下流からの整備が原則であること、整備の実施には用地買収等の調整が必要であることなどから、上丹生地区での実施時期は未定である。
- 河川整備について、一刻も早くお願いしたい。

【その他】

- 8月の氾濫以降、高時川の濁りがいまだに残っているが、原因は分かっているか。  
⇒原因はまだ分かっていない。今後、調査が進められる。
- 8月大雨時の高時川の氾濫では、霞堤が有効に働いたと聞いたが、霞堤はどのような機能を有するのか。  
⇒霞堤は堤防の一部が低くなっている不連続な堤防で、内水氾濫や氾濫水を河川に流す効果や洪水の一部を貯留する効果などがある。



令和4年10月 住民説明会